

平成 30 年度事業計画

1 基本方針

徳之島町シルバー人材センターは、平成 4 年 4 月に社団法人として設立以来、今年で 26 周年目を迎えます。

その間、シルバー人材センターを取り巻く環境にも変化がみられ、民主党政権時の事業仕分けで激減した国庫補助金が、公益社団法人へと移行し、従来の運営費補助から P D C A 等、目標を立てての事業費補助へと制度が変わり、労働者派遣事業への参入も余儀なくされました。

加えて、年金支給開始年齢引き上げ及び企業における定年延長・継続雇用の定着、適正就業の推進等への対応が求められています。

そのような中で、会員の弛まぬ努力と地域住民や企業、行政のご理解・ご協力により、「地域社会に親しまれ、信頼されるシルバー人材センター」として、着実に歩んでまいりました。

近年、ゆるやかながらも景気は回復基調にあり、一方では少子高齢化が一層進み、生産年齢人口の減少が進行する中、シルバー人材センターの出番がますます増えてきています。こうした背景もあって、当センターもここ 3 年間の契約高は堅調に推移しており、近い将来、世界自然遺産登録も実現する見込みであり、本年も実績の伸びが期待されます。

本年も基本理念である「自主・自立・共同・共助」を再認識し、「就業機会の拡大並びに会員の拡大」「安全就業の徹底」を最重要課題として推進してまいります。

また、就業だけでなく、会員の趣味・特技を活かした、三味線、ギター、社交ダンス、英会話等のサークル活動や、相互の親睦を深めるサロンの憩いの場として会議研修室を開放してまいります。

今後も、徳之島町シルバー人材センターが地域に不可欠な存在としての位置づけを確立するよう会員、役職員が一体となって事業推進に取り組んでまいります。

2 事業項目

- (1) 基本理念の周知及び組織の強化
- (2) 就業機会の拡大並びに会員拡大の推進
- (3) 安全就業及び交通安全の推進
- (4) ボランティア活動による地域社会への貢献
- (5) 労働者派遣事業の推進

3 実施計画

- (1) 基本理念の周知及び組織の強化

- ① 役職員・会員は常に基本理念を遵守し、会員主体の自主的運営体制の確立に取り組む、会員の意識改革を図る。
- ② 事務局職員の機能向上は不可欠であり、各種研修会に参加し自己研鑽に努め、資質向上を図り、会員並びに発注者のあらゆる要望に対応出来る事務局体制を構築する。

(2) 就業機会の拡大並びに会員拡大の推進

- ① 町広報誌やホームページの活用により普及啓発活動を積極的に展開する。
- ③ 独自事業など趣味を生かせる分野での活動ができることを呼びかける。
- ④ 会議研修室を会員のサークル活動の場として開放し、相互親睦を深める。

(3) 安全就業及び交通安全の推進

- ① 安全就業は最優先課題であり、事故防止の施策を積極的に見極め傷害、賠償事故ともにゼロを目指す。
- ② 安全就業・基準の遵守とあわせ、講習会や安全パトロール等を実施し、安全意識の浸透を図る。

(4) ボランティア活動の推進

- ① 普及啓発月間における広報活動やボランティア作業を実施し、地域社会に親しまれ、信頼されるセンターづくりに努める。
- ② ボランティア活動を通じ、会員相互の連帯意識の向上を図る。

(5) 労働者派遣事業の推進

- ① 鹿児島県シルバー人材センター連合会が実施する労働者派遣事業所として、高齢者の多様な働きに応じた就業機会の確保、提供に努める。
- ② 請負事業との棲み分けによる派遣事業の推進を図る。

平成 29 年度努力目標

配分金	3 千 800 万円
会員数	185 名
就業延人数	9 千人

主な行事予定

4 月	安全対策委員会
5 月	平成 30 年度定時総会
6 月	刈払機講習会
9 月	レクリエーション 安全対策委員会・剪定講習会
10 月	シルバーの日・ボランティア作業 ブロック別役員研修会(連合会)
12 月	会員忘年会
1 月	安全対策委員会